

橋本けいご通信

初の通常国会に臨む!!

新人国会議員ですが、予算委員会、内閣委員会など次々と質問に立っています!

2月12日

内閣委員会 政治とカネ、個人情報保護、食料品消費税ゼロ% など



政治とカネ問題を解決し、政治の信頼回復を!

新聞社の世論調査では国民の半分以上が内閣を支持しない。
林 官房長官より(石破総理の言葉を引用)
謙虚に、真摯に、誠実に政治改革に取り組む。

総理、官房長官の言葉は重い。
クリーンな政治へ
チェンジ!していきます。

食料品の消費税ゼロ(減税)を日本の経済政策にすべき!と大臣へ提言

昨年の家計調査で消費の約3割を食費が占める状態。(エンゲル係数約30%!)
悪い物価高の現状、国民の命と健康に直結する食料品の消費税ゼロを経済政策として実現すべき。
赤澤 大臣より
賃上げこそ経済政策の要。それまでは低所得者給付、重点支援地方交付金等の物価高対策を行う。

大企業優遇税制ばかりではなく、中小企業支援や国民の暮らしに直結する食料品やガソリン等の減税を訴えています。

「食料品の消費税ゼロ%を実現する会」勉強会(第二回) 衆議院会館にて

2月13日

泉房穂氏をお招き

「政治家のやる気次第だ!」と熱く語る泉氏



政治の師である泉房穂さんとも連携し、国民負担「減」の政策実現に取り組みます!

江田憲司さんと国民生活に寄り添う政策の実現を確認

2月27日

衆議院予算委員会 救急安心センター、公共施設の老朽化対策、マイナンバーカード、兵庫県百条委員会 など



救急安心センター事業(#7119)を地域差なく利用できるように マイナ救急の早期実現を!

村上 総務大臣の答弁
早期導入に向け積極的に動きかける。



4人の子たちは皆、救急車にお世話になった。救急隊員が病院に電話する間、「早く受診できる病院が決まってほしい」と祈るような不安な思いだった。神戸や姫路では導入済みだが、明石市や淡路島では未導入。県民全員への安心に早期に繋がるよう、国からの支援を継続、拡充してほしい。

公共施設の老朽化に伴う複合化、集約化の支援を!

明石市、淡路市、洲本市、南あわじ市も、公共施設の集約化や適正管理が課題です。市役所の意見・要望も聞いて質問に反映させました。

誰も取り残さないマイナンバーカードの更新手続を

村上 大臣
高齢者や施設入所者など、来庁が難しい方は、代理による更新手続も可能に。円滑な更新手続のため地方自治体への支援も行う。

兵庫県の百条委員会で議員が個人情報情報を漏らした問題

村上 大臣
制度を所管する立場の者としては、非常に遺憾。地方自治法により、地方議員は誠実に職務をおこなわなければならない。

3月7日

内閣委員会 大阪関西万博、PFAS対策の強化など



大阪・関西万博の会場運営費について

これまで「増やさない」と言いながら国民負担を何度も「増やしてきた」政府。R6年度とR7年度予算でも理由をつけ増額。これ以上、国民負担は増やさないように要求、確認。
伊東 国務大臣より

今後、赤字補填に関する国の追加負担、国民負担は行わない。と確認をとりました!

その他
子どもたちが安全に参加できるように、けが等への保険、熱中症対策、交通費補助等を提案、要望しました。
また、木造「リング」の再利用で、国民負担が増えないように要望。

PFASについて国が主導的に規制を強化し、血中濃度の調査をすべき。

環境省より
水質検査、遵守義務のある水質基準への引上げ等を検討する。その後、水道法に基づく省令を改正予定。血中濃度と健康影響の関係性を明らかにする疫学研究を実施中で、さらに進めていく。



立憲民主党の政策

高額療養費の患者の負担増を見送らせました!!

命に関わる医療費を削減するという政府の暴挙に対し、立憲民主党が粘り強く訴え続けた成果です。



衆議院予算委員会に出席していると、当事者たちの悲痛な声も届かない、政府の答弁に悔しい思いでしたが、立憲民主党を筆頭に粘り強く理不尽さや政府内議論の甘さを指摘し、財源も示し訴えてきました。

命を守る政治へ私たちは変えます!

← 予算委員会にて高額療養費について質問する小川幹也 幹事長をサポート

新人国会議員として



要望や陳情を受け、様々な方から現場の声を伺っています。質問や政策に生かしてまいります。



「ナースアクション2025 国会行動」に参加。看護師などの医療従事者や目指す学生たちを支援していきます！



議員同士、衆議院調査局、各省庁の官僚等と毎日のように打ち合わせやレク、勉強会を行っています。



『予算修正で何を實現したいか』アンケートを有楽町駅にて実施。党内議論や予算委員会の質問に反映させました。



朝8時からの党と政府との勉強会でも、しっかり意見を述べています。皆さんからいただく声も、届けてまいります。



党のデジタル政策事務局次長として、各ミーティングや法案提出への準備を進めています。



同じく兵庫県選出の先輩、井坂議員の石破総理への質疑をサポート。ガソリン減税等をすぐできる根拠を示しています。



党の消費税の減税や、法人税の見直しを考えるチームに参加。党内でも、減税や税制のあり方を提言していきます！

地元での活動



明石市・市議会・商工会議所共催の新年交歓会に参加。市民のために、力を合わせ心をあわせ、頑張ります。



淡路市・市議会・商工会議所共催の新年交歓会にてご挨拶。淡路に住まう方々のために力を尽くします。



明石、淡路、洲本のはたちの祝典へ。はちを迎えられた方々、ご家族の皆様、本当におめでとうございます。



阪神淡路大震災から30年。西明石での朝5:46の追悼集会で祈りを捧げる。能登被災地でのボランティア経験も含め、震災の教訓を次世代に繋ぐ。



西明石まちづくり合同起工式で挨拶。西明石エリアの賑わいと利便性が高まります。地域の方々と共にこの事業の成功を応援していきます。



伊弉諾神宮の淡路農林漁業祭にてご挨拶。世界に誇る淡路島の農林水産業の支援、小規模や兼業農家も継続できる支援を我が党は実行します。



洲本市の洲本S BRICKで行われたイベント「しまとも音楽祭」へ。淡路島の「食」と音楽で、地域の魅力を発信されています。このような活動を応援していきます。



明石公園で開催の「つむぐフェスティバル」。南あわじ産の玉ねぎを購入。子ども達と美味しくいただきました。淡路島の農家さんから直接購入もよくしています。



国政報告を明石、淡路で配布。様々な年代の方々から、ご意見、励ましのお声がけいただきました。胸に刻んで活動していきます。

サポーター募集！

橋本けいご通信の各戸ポスト配布や、ポスター貼り、イベント準備など、お手伝いいただける方を募集中！
初心者も大歓迎です。「橋本のポスターを貼ってもいいよ!」と場所を提供くださる方も大募集です！
まずはお気軽にご連絡ください。

切り取ってはがき表面に貼ってご利用ください

料金受取人払郵便

明石局
承認
6209

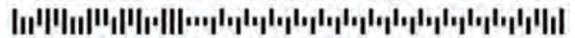
差出有効期限
2026年12月20日
切手は不要です

郵便はがき

6738790

明石市小久保 5-16-2-103

橋本けいご事務所 行



差し支えなければ、お名前などご記入ください。

お名前	メールアドレス
ご住所	TEL
	FAX

サポーターになってくださる方は を入れてください。

- 一般会員になる(無料) 賛助会員になる(年3千円)
- 立憲民主党サポーターになる(年2千円、上記と重複も可能)

橋本けいごへのご意見や政策提案など、ご自由にお書きください。

※はがきの裏側にもご自由にお書きください。



橋本けいごが、国会見学にご案内しますので、ご希望の方はお気軽に事務所や公式LINE等にご連絡ください！

←明石市議会「市民の会」の皆さんが
昨年12月に来られた時に泉房穂氏と

橋本けいご プロフィール

36歳(1988年生まれ)
慶應義塾大学卒業
元兵庫県議会議員
元地方公務員
4児の父
(2才、8才、11才、13才)
明石市在住
2024年10月～
衆議院議員



実家は農家。
サッカー、マラソンを続けています。
家族でスキーやキャンプに行きます。

個人献金のお願い

クリーンな政治、しがらみのない政治の實現のため、「企業・団体献金」に頼ることなく活動します！

1人でも多くの方への国政報告をお届けするため、報告チラシの発行回数を増やすため、また調査や政策提言等の活動を強化するために、ご寄付をお願いいたします。信頼される政治の實現のためにも、橋本けいごの活動の応援をお願いします。もちろん、収支を報告いたします。
※恐れ入りますが、振込時の手数料のご負担をお願いいたします。
※個人献金ができるのは日本国籍を持つ方に限られます。

お振込先: ゆうちょ銀行
記号14330 番号88615541
名前ハシモトケイゴウエンカイ

ゆうちょ以外からお振込の場合
お振込先: ゆうちょ銀行(普通預金)
店名 四三八 店番 438
口座番号 8661554

はしもと
橋本
けいご
慧悟

衆議院内閣委員、衆議院地域こどもデジタル特別委員、党政調会長補佐、党デジタル部門事務局次長

兵庫県第9区(明石市・淡路市・洲本市・南あわじ市)総支部長

TEL (080)2367-3695 MAIL hashimoto.keigo.hyogo@gmail.com

明石事務所 〒673-0005 明石市小久保5-16-2-103

公式LINE



号外
立憲民主
RIKKEN MINSHU

No.3
2025年3月19日発行

立憲民主党 立憲民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-3 電話 03-5595-9088
Tel.03-3595-9888 Fax.03-3595-9088